

## 第1号議案 平成29年度事業実績、決算

## I. 事業実績

第3次食育推進プラン共通施策「食育への理解と関心を高める」に基づき、市民の食育への理解や関心を高めることを目的に、食育フェスタの開催や郵送、メール配信を利用し情報発信を行った。

## 1. 食育推進会議

時期	内容
平成29年7月20日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度事業実績、決算</li> <li>平成29年度事業計画、予算</li> <li>食育推進プランの進捗状況</li> </ul>

## 2. くるめ食育フェスタ 2017

日 時：11月11日(土)12日(日) ※第43回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催  
 会 場：久留米百年公園リサーチセンタービル展示場内

来場者：65,000人(12日:30,000人、13日:35,000人) (農業まつり実行委員会公表値)

## 【展示・相談コーナー】

部会及び食育関係団体が出展し、食育関係資料の展示や配付、食に関するクイズや相談を行った。

出展団体	内容
子ども食育部会	子ども向け食育クイズと簡単おやつ／子どもたちに食べさせたい料理のレシピ展示及び冊子配布／味噌づくりボードの展示、園での食育活動写真等
食と健康部会	クイズに答えてなぞを解け！食育キーワードクイズ
地産地消部会	催し広場 地産地消推進店通りの設置 (11店舗)
食の循環部会	生ごみリサイクルから元気野菜づくり、段ボールコンポスト、無駄なく使いいきりレシピなど
久留米信愛短期大学	フードデザイン学科の食育活動等のポスター展示、学生考案レシピの展示
久留米市栄養教諭等研究会	お箸の持ち方、久留米産野菜の紹介、朝ご飯の重要性 など
(公財)福岡県学校給食会	学校給食歴史パネル・地場産物を利用した学校給食用物資紹介
久留米市食品衛生協会	手洗いチェッカーを使った手洗い体験
久留米ヤクルト販売株式会社	腸とウンチのクイズに挑戦！、ヤクルト試飲配布



(子ども食育部会)



(食と健康部会)



(地産地消部会)



(食の循環部会)

【体験コーナー】（コーナー数：14、総参加者数：457名）

	開始	題名	担当	参加人数
11日 (土)	10:30	野菜の皮・芯・まるごと使いっきり！ふりかけ&ベジブロススープ作り	久留米市食育推進会議 食の循環部会	25名
	11:00	久留米野菜を使った似顔絵サラダ作り	キューピー株式会社	20組 40名
	11:50	米粉ちぢみ作り体験	久留米市食生活改善推進員 協議会	20組 43名
	12:00	久留米のお米でおにぎらず作り	久留米市産米推進協議会	32組 60名
	13:10	親子で作る簡単おやつ(スナックいりこ【カレー味】)	久留米市食育推進会議 子ども食育部会	12組 33名
	14:00	盆栽教室	鳥飼盆栽部会	20組 20名
	14:30	野菜の皮・芯・まるごと使いっきり！ふりかけ&ベジブロススープ作り	久留米市食育推進会議 食の循環部会	39名
12日 (日)	10:30	みそまる作り	スローフード協会筑後平野	24組 47名
	10:30	自然農法産のさつまいもをカットしての焼きいも作り	MOA インターナショナル	13組 30名
	11:30	「だし」の料理教室	スローフード協会筑後平野	20組 30名
	11:50	お豆腐作り体験	スローフード協会筑後平野	12組 31名
	13:00	そば打ち体験	農事組合法人 山辺の里	8組 20名
	13:10	体にいい薬草と、薬草茶体験	スローフード協会筑後平野	19名
	14:30	富有柿を使った料理教室	スローフード協会筑後平野	20名

284組 457名



(ベジブロススープ作り)



(親子で作る簡単おやつ)



(米粉ちぢみ作り体験)



(薬草茶体験)

### 3. 「食育友の会」食育啓発事業

- ・ イベントや食育に関する情報提供（郵送2回、メールマガジン12回）  
※ 食育友の会会員 H30.3.31末現在 267人（前年比+12人）

### 4. 職場への食育啓発

- ・ 毎月19日の『食育の日』に、各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、情報発信を行った。  
（小中学校、校区コミュニティー組織、久留米市職員へ向けたメール）
- ・ 商工政策課が発行している産業ニュース（メールマガジン）を活用し、毎月19日に「食育通信」を送信し、市内約2,000事業所向けに食育推進の啓発を行った。
- ・ 久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として、早く帰宅して家族との食事を楽しむことを呼びかける取組を行った。

## Ⅱ. 平成29年度 食育推進会議 決算

(収入)

(単位：円)

項目	H29予算	H29決算	比較増減	内 訳
市補助金	2,423,000	2,225,636	▲ 197,364	197,364円を市へ戻入
雑入	0	3	3	預金利息
合 計	2,423,000	2,225,639	▲ 197,361	

(支出)

(単位：円)

項目	H29予算	H29決算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	167,000	44,575	▲ 122,425	会議 1 回 (謝金等)
事業推進費	2,256,000	2,181,064	▲ 74,936	食育フェスタ (開催費)
合 計	2,423,000	2,225,639	▲ 197,361	

# 監 査 報 告 書

久留米市食育推進会議の平成29年度事業ならびに運営について、平成29年度事業実績、及び、決算に基づき出納簿、領収書、その他関係書類を監査したところ、その内容については適正に処理されていることを報告します。

久留米市食育推進会議会長 橋本 政孝 殿

平成30年 5 月 25 日

監事 中島 誠 治 

平成30年 6 月 4 日

監事 古賀 シヅ子 

**第 2 号議案 平成 30 年度事業計画（案）、予算（案）**

**I. 事業計画（案）**

**1. 食育推進会議の開催**

第 3 次食育推進プランに基づき、本市の食育推進事業を計画的に進めるための協議を行います。

時期	内容
平成 30 年 8 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業実績、決算</li> <li>・平成 30 年度事業計画(案)、予算(案)</li> <li>・食育推進プランの進捗状況</li> </ul>

**2. くるめ食育フェスタの開催**

市民への食育推進のシンボルイベントとして「くるめ食育フェスタ 2018」を開催します。

体験等を通して、市民の食育への関心の向上を図るとともに、市民が自ら食育を実践できるよう啓発を行います。

日 時：平成 30 年 11 月 10 日(土)、11 日(日)

※第 44 回ふるさとくるめ農業まつりと同時開催

会 場：久留米百年公園リサーチセンタービル展示場内

内 容：調理体験などの体験コーナー  
 食育関係資料などの展示コーナー  
 食に関する相談やクイズ など

**3. 「食育友の会」食育啓発事業**

- ・イベントや食育に関する情報提供（メールマガジン等）の実施。

**4. 市民に対する食育啓発**

- ・毎月 19 日の『食育の日』に「食育通信」を発送する。  
 （小中学校、校区コミュニティー組織、久留米市職員へ向けたメール）
- ・市内事業所向けに食育推進の啓発を行う。
- ・久留米市役所において、『食育の日』を「定時退庁日」として呼びかける取組を行う。

## Ⅱ. 平成30年度 食育推進会議 予算（案）

（収入）

（単位：円）

項 目	H30予算	H29予算	比較増減	内 訳
市補助金	2,223,000	2,423,000	▲200,000	
合 計	2,223,000	2,423,000	▲200,000	

（支出）

（単位：円）

項 目	H30予算	H29予算	比較増減	内 訳
会議費・事務費	73,000	167,000	▲94,000	会議1回（謝金） 消耗品費等
事業推進費	2,150,000	2,256,000	▲106,000	食育フェスタ（開催費）
合 計	2,223,000	2,423,000	▲200,000	

## 第3次食育推進プランに基づく平成29年度事業実績・平成30年度事業計画

基本施策Ⅰ	生きる力を育む食育 【子ども食育部会】	1-1 ページ
基本施策Ⅱ	健全な食生活を推進する食育 【食と健康部会】	1-5 ページ
基本施策Ⅲ	農業・農産物への理解を促進する食育 【地産地消部会】	1-7 ページ
基本施策Ⅳ	環境との調和を図る食育 【食の循環部会】	1-9 ページ
共通施策	食育への理解と関心を高める	1-10 ページ



《基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	-----------	---------------------	-----

●個別施策1 食に関する指導の充実

①	久留米市栄養教諭等研究会の活動の推進	栄養教諭等が行う食育の授業や短時間の食育指導を市内全小中学校において実施し、食に関する指導の充実を図ります。	○4班に分かれて食に関する指導の内容充実を目的に、班別研修で実践の紹介や教材作成等の取組を行った。 ○栄養教諭未配置の中学校において、1年生を対象に、配膳指導、遅食・偏食生徒への個別指導、食育啓発活動を実施。(10校/10校中)高牟礼中学校においては、1年生対象の食育講演会も実施した。	686	○学校における食に関する教科等の指導や給食指導を充実する。 ○栄養教諭等が配置されていない中学校における食に関する指導を充実する。	651	学校教育課
		料理教室の開催、保護者や教職員向けの通信等の作成・配布など、授業以外での食育推進活動についても支援し、その充実を図ります。	○「親子料理教室」において、食の重要性や地元農産物への理解を深めるよう、調理指導を行った。(実施校数:8校、参加人数230人) ○教職員向けの情報通信「もぐもぐ通信」において、授業実践の内容や食育プログラムの内容を発信。(発行回数:3回) ○「朝ごはん摂取率」向上のため、学校が行う食育推進支援事業に対して助成を行った。(実施校数:小11校、中1校)		○食への関心を高める「親子料理教室」や「お弁当の日」を開催する。 ○教職員向け食に関する情報通信「もぐもぐ通信」の作成・配布(年3回)。 ○「朝ごはん摂取率」向上へ向けた子どもや保護者への啓発。		学校教育課

●個別施策2 家庭への食育啓発の促進

①	食育啓発促進校のPTAが行う食育啓発への支援	食育啓発促進校に指定された学校(市内小中学校から年間5~6校)のPTAが行う食育啓発の取組を支援します。	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図った。 <H29年度促進校> 京町小・青木小・船越小・山本小・城南中 <活動内容> 食に関するアンケート、生活リズムカード講演会、親子料理教室、お弁当の日の取組、保護者の給食試食会、みそ作り体験、給食のHP掲載、石臼でのきな粉作り体験、段ボールコンポストでの堆肥作り体験、「自分で作る簡単朝ご飯」の授業実践 など	500	○学校、家庭及び地域が連携した運動を展開し、子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上を図る。 <H30年度促進校> 金島小・上津小・江上小・草野小・北野中・牟田山中 <活動予定> 食に関するアンケート、生活リズムカード講演会、親子料理教室、お弁当の日の取組など	420	学校教育課
		促進校に指定された学校が、成果や課題を次年度以降の取組に反映させるように支援を行います。	○青木小は、本年度も引き続き給食のHP掲載を継続し、地域に食育の内容を発信している。		-		○促進校が継続的に取り組むことができるよう、情報提供や働きかけを行う。

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	-----------	---------------------	-----

●個別施策3 学校給食を通じた食育の推進

①	給食時間における食に関する指導	学校給食が、教科等と関連した「生きた教材」として活用されるよう、給食時間における食に関する指導の年間計画を作成します。	○食に関する指導の年間計画に基づき、教科等で取り上げられた食品や学習したことが確認できる献立を実施した。 教科等と関連した給食献立導入数:11回	-	○食に関する指導の年間計画に基づき、教科等と関連付けた指導が行えるよう、献立の工夫を行う。	-	学校保健課
		献立のねらい(栄養バランスやかむこと等)に基づいた給食指導資料を作成し、給食時間の放送資料として配布します。	○給食時間に、献立に関連した放送を実施し、子どもたちへの食指導を行った。 また、学校給食に関する標語の募集を児童生徒を対象に行い、最優秀作品は献立表や給食だよりに掲載した。 応募総数:3,056作品 最優秀作品:「いただきます。」感謝をつたえる 愛言葉	-	○献立のねらいと「給食」という体験を通じた、給食時間における指導の内容充実を図る。	-	学校保健課
		子どもたちが望ましい食習慣を身に付けることができるように、給食だよりの発行や試食会の開催等で、家庭への食育啓発を行います。	○食に関する情報を掲載した献立表や給食だよりの発行や、給食試食会等で食に関する講話の実施など、家庭への啓発を行った。	-	○児童配布献立表や給食だより「ランチタイム」で食の情報を毎月発信する。また、保護者や地域の方に対し、試食会を開催する。	-	学校保健課
②	学校給食への久留米産農産物の導入促進	毎月2回、久留米産の米を使用した主食(ご飯、米粉パン)と旬の久留米産野菜を使用した副食による「地場産の日」を実施します。	○久留米産農産物を多く使用した献立「地場産の日」を毎月2回実施した。久留米産米の消費拡大を図るとともに、久留米産農産物の利用拡大・普及啓発に努めた。	-	○毎月2回、「地場産給食の日」の実施により、子どもたちへの久留米産農産物の理解促進を図る。	-	学校保健課
		久留米産農産物の積極的な活用を念頭に置いた献立年間計画を作成するとともに、新規献立を考案し、実施献立について工夫改善を行います。	○献立年間計画を基に、学校給食献立を作成し、新規献立の開発や実施献立についての工夫・改善を行った。 新献立導入数:32品	-	○地産地消の推進などを目的として、久留米産米による米飯給食を週4回実施する。また、献立年間計画を基に、地元食材を使った献立の開発など、学校給食への久留米産農産物の導入促進を図る。	-	学校保健課
		学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを行い、調理技術スキルと意欲を高め、学校給食における食事内容の充実と多様化を図ります。	○地元食材等を使った献立の開発を行うとともに、学校給食料理コンクールを開催した。 市:参加17チーム 1位金島小 2位北野中 3位大城小 県:参加28チーム	-	○学校給食調理員による久留米産農産物を使用した料理コンクールを実施する。 日程:平成30年8月17日(金)	-	学校保健課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	-----------	---------------------	-----

●個別施策4 保育所、幼稚園、認定こども園での給食や活動を通じた食育の推進

①	子どもに適した給食の提供と食育活動の継続	各園で実施されている給食について、子どもたちの発育・発達、健康状態、生活状況などに応じて給食の提供が行われるよう、適切な食事計画や献立作成を行うための情報提供や研修等を実施します。	○施設向け研修会の実施 計15回/年(参加人数 計660人)。 【内訳:対象施設・実績・主な内容】 公立保育所・5回(38人)・保育所での離乳食の基本的取組みと量について 保育所・8回(493人)・新献立について 認定こども園・1回(13人)・離乳食について 保育所、認定こども園、幼稚園・1回(116人)・食物アレルギーについての正しい理解と対応について  ○完全給食(主食提供)の実施で子どもの栄養の把握が充実した。	50,559	○施設向け研修会の実施(計15回/年) 公立保育所・5回 保育所・8回 認定こども園・1回 保育所、認定こども園、幼稚園・1回  ○認可保育所等での3歳以上児への主食提供給食の充実及び家庭の負担軽減等を図る。	56,238	子ども施設事業課
		各園の食育計画に基づいた食育実践の取組を継続するとともに、市食育事業に関する情報提供を行い、地域と連携した活動の充実を図ります。	○園児向け食育取組み状況 (保育所、認定こども園、幼稚園への食育アンケート調査の結果・複数回答) 【取組みをした項目・回答割合】 栽培・収穫体験:90% クッキング保育:89% 食べ物栄養の話:77% 地域の方との食を通じたふれあい:53%  ○校区コミュニティーセンター出前講座:2件(42人): 講座とみそ玉、出汁の試飲		○各園において、食育計画等に基づき、クッキングや食育講話などの食育の取組を継続する。		
②	保護者への食支援	おたよりの発行、給食試食会や親子クッキングの実施、保護者向け食育講座の開催など、保育所、幼稚園、認定こども園を拠点として、家庭を含めた保護者への食支援を行います。	○保護者向け食育取組み状況 (保育所、認定こども園、幼稚園への食育アンケート調査の結果・複数回答) 【取組みをした項目・回答割合】 食育たより:79% 給食展示:74% 給食試食会:66% 食事相談:40% 食育講話等:18%  ○出前講座:2園(87人):講座とみそ玉、出汁の試飲		○保育所や幼稚園、認定こども園を拠点とし、食育に関するアンケート実施及び食育講座依頼を受け、保育所や幼稚園、認定こども園の保護者対象の食育講演やクッキングを行い食育啓発を行う。  平成30年度の保育所、幼稚園、認定こども園保護者向け出前講座:7園(実施予定)随時申込み	20	子ども施設事業課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策5 子育て支援事業等を通じた食育の推進							
①	地域子ども 子育て支援 センター等 での食育事 業	食育講座、離乳食相談会の開催な ど、地域子育て支援センター等の子 育て支援施設を拠点として、子育て支 援事業を通じて共食など家庭での正 しい食習慣の推進を図ります。	○食育事業の実施 計16回/年(参加人数計150人) 【事業名・依頼施設・実績・主な内容】  食育講座・地域子育て支援センター・4回(90人)・幼児 食の講話と調理実習  離乳食相談会・子育て交流プラザくるるん・12回(60人)・ 離乳食の講話と相談	30	○子育て支援事業を通じて、共食など家庭での正し い食習慣の確立のため啓発を行う。  ・食育講座(乳幼児食の講話及び調理実習) ・離乳食相談会	30	子ども政策課 子ども施設事業 課
②	幼児の食に 関する情報 の提供	冊子やインターネットなど様々なツ ールを使った幼児食レシピ等の紹介や 正しい食習慣についての情報提供、 食育イベント等での啓発により、幼児 の食に関する情報提供を充実します。	○子ども達にたべさせたい料理レシピ集(乳幼児の食 育と食事)の作成と配布 14,500部+1,300部(増刷):保育所、認定こども園、幼 稚園、の保護者及び未就学児の保護者等  ○久留米市のHPに支援センターで実施した献立を紹 介(保育所、認定こども園の献立より)	389	○乳幼児の食に関する情報を提供するための啓発冊 子を作成し、保護者や市民に配布する。 14,500部作成、配布予定 ○久留米市のHPに未就学保護者対象にした食育講 座の献立を掲載して、家庭での乳幼児の食事の参考 にしよう。	408	子ども施設事業 課
③	多様な暮ら しに配慮し た子どもへ の食支援	様々な事情を抱えた子どもへの食事 の提供や地域との交流などを支援し、 食生活の向上と望ましい食習慣の形 成を図ります。	○子ども食堂事業(H28.6～)運営費・施設整備費の助 成 子ども食堂実施団体数:6団体 延べ実施回数:231回 延べ参加者数:6,468人	1,754	○市内において子ども食堂事業を実施する団体に対 し、運営または施設整備にかかる費用を助成する。 今年度から新たに夏休み期間や朝食の提供に組み 込む団体への補助を行う。【拡充】	3,350	子ども政策課

《基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	-----------	---------------------	-----

●個別施策1 次世代に伝えつなげる若い世代への食育の推進

①	高校生・大学生への食育推進	高校生・大学生等を対象に講話や実習による食育教室を実施します。	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話や調理実習を行った。 【実施数 7校:13回】	43	○市内の高校・大学等に、市から講師を派遣し、食の重要性やバランスのよい食事などについて理解を深め、健全な食生活を実践できるよう、講話や調理実習を行う。	225	健康推進課
		食に関する情報提供や食育イベント等で正しい食選択が出来るように支援します。	○健全な食生活に関する情報提供 高校・大学等に「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関するポスター等を設置し、普及啓発を図った。 【実施数 9校】 ○食育啓発イベント 久留米大学(御井キャンパス)学園祭にて食育コーナーを設置した。 【実施日 平成29年10月28日】	36	○健全な食生活に関する情報提供 高校・大学等に「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関するポスター等を設置し、普及啓発を図る。 ○食育啓発イベント 久留米大学(御井キャンパス)を予定	35	健康推進課
②	母子保健事業における食育推進	妊娠届出の際に、妊婦の健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、必要な食生活指導等を行います。	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行った。 【実施者 1,704名】	—	○妊娠届出の際に、保健師等の専門職が、妊婦の妊娠前のBMIや生活習慣病の家族歴等から健康に関するリスクや食生活の状況を把握し、適切な食生活指導等を行う。	—	こども子育てサポートセンター
		離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、子どもだけでなく大人も含めた食生活支援に努めます。	○離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図った。 【離乳食教室33回、ゆったり子育て相談会48回、集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児)44回】	—	○離乳食教室や子育て相談会、乳幼児健診などの機会を利用し、「共食」を通じて家族を含めた食生活の見直しにつながるよう、配布資料や講話内容を充実させ、普及啓発を図る。 【離乳食教室33回、ゆったり子育て相談会48回 集団乳幼児健診(1歳6ヶ月児、3歳児)44回】	—	こども子育てサポートセンター

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	-----------	---------------------	-----

●個別施策2 生活習慣病予防・改善のための食育の推進

①	健康づくりを支える環境整備	くるめ健康づくり応援店事業により、市内の飲食店や食料品販売店等で健康情報提供や栄養成分表示などを行い、健康に配慮した食環境の整備を進めます。	○応援店の店舗数の拡大に努めると共に、5月より「くるめ健康づくり応援店アプリ」を配信し、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進めた。 【登録数180店、ガイドブック8,500部、アプリチラシ10,000枚】	329	○応援店の店舗数の拡大に努めると共に、「くるめ健康づくり応援店アプリ」を配信し、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」についての情報提供を充実させ、健康に配慮した食環境の整備を進める。	783	健康推進課
②	地域における生活習慣病予防のための食育の推進	食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行います。	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行い、「主食・主菜・副菜をそろえること」などをレシピや配布資料に盛り込み、普及啓発を図った。 【実施回数115回、参加者数 2,058名】	1,824	○食生活改善推進員が市民を対象に、生活習慣病予防のための講話と調理実習を各地域で行う。「主食・主菜・副菜をそろえること」などをレシピや配布資料に盛り込み、普及啓発を図る。	2,028	健康推進課
③	健診事業における食育推進活動	健康管理ブック等で、主食・主菜・副菜をそろえた食事などの情報提供を行います。	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行った。 【健康管理ブック配布数 23,000部】	—	○特定健診受診者に配布する「健康管理ブック」で、「主食・主菜・副菜をそろえること」や「野菜摂取」に関する情報提供を行う。	—	健康推進課
		特定保健指導や糖尿病予備軍・高血圧予備軍を対象とした保健指導や教室を実施します。	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施した。(特定保健指導、早期介入保健指導、血圧改善支援事業、お腹まわりすっきり相談、重症化予防事業)	—	○特定健診の結果に応じて、各種保健指導や教室を実施する。 ①特定保健指導 ②早期介入保健指導 ③血圧改善支援事業 ④お腹まわりすっきり相談 ⑤重症化予防事業	—	健康推進課 地域保健課
④	高齢者事業における食育推進	介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報発信に努めます。	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行った。 【おたっしや出張講座 175回、参加者数3,315名】	—	○介護予防事業の中で、栄養改善や口腔機能の向上に関する情報の発信を行う。	—	長寿支援課

《基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	-----------	---------------------	-----

●個別施策1 農業体験等を通じた食と農の理解促進

①	農業体験の場の提供	市内の小学校での学童農園活動を支援し、小学校での農業・農村への理解促進を図ります。	○農業団体等が市内の小学校で実施する学童農園事業を支援し、児童の農作業体験や農業への理解促進を図った。(38校/46校)	3,800	○児童の、農業生産者との交流及び農業への理解を深めることを目的に、農業団体等が市内の小学校で実施する学童農園事業を支援する。	4,600	生産流通課
		小学校を中心に、本市の農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能などを学ぶ農業体験学習を推進します。	○久留米産農産物(藤山なし)の学校配布事業に併せて、多面的機能のチラシを配布した。(市内小学6年生2,661名) ○食生活改善推進員協議会、PTAと協働した料理講習会にて多面的機能のチラシを配布した。(参加者33名) ○環境交流プラザに多面的機能のパネル展示を行った。	456	○本市の農業の特長や魅力、農業・農村の多面的機能についてのチラシを作成し、久留米産農産物(藤山なしを予定)の学校配布事業に併せて配布する。 ○食育フェスタ会場にて多面的機能のチラシの配布を行う。【新規】 ○食生活改善推進員協議会、PTAと協働した料理講習会、にて多面的機能のチラシを配布する。 ○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザ、久留米市立中央図書館の農業関連コーナーで農業の多面的機能や食育のパネル特別展示を実施する。また、久留米市立中央図書館の農業関連コーナーでは、多面的機能チラシの設置も行う。【拡充】	660	農政課
		土づくり広場での農業体験を実施するとともに、農業者が行う消費者交流事業を支援します。特に、栽培過程全体を体験することで農業への理解を深めることができるように事業の見直しを推進します。	○土づくり学習及びジャガイモや枝豆の収穫体験を実施し、食育や、環境保全型農業への理解促進を行った。(参加者196名)	698	○市民がJAくるめ西部土づくりセンターでの土づくり学習、及び同センターで製造された良質堆肥を使用して栽培された作物の収穫体験等を実施し、食育について学び、市民の環境保全型農業への理解促進と、食と農に対する理解向上を図る。	1,000	生産流通課
②	食と農の情報発信	農業まつりの開催による生産者と消費者の交流や農業・農村の多面的機能について情報発信を行い、市民の食と農への理解を促進します。	○ふるさとくるめ農業まつりやみづま祭にてパネル展示を行い情報発信を行った。	8,934	○農業まつりや地域の農業関係イベントで農業の多面的機能や、地産地消の取組について紹介する。	9,434	農政課

●個別施策2 地産地消の推進

①	地産地消を進める環境整備	市民や事業者に久留米産農産物であることを分かりやすくするため、流通過程における「キラリ久留米」や「くるっば」のロゴマークの貼付を推進します。	○JAくるめ、JAみづま、近郊出荷者連合会、道の駅くるめに対し支援を行った。 JAくるめ:ごぼう、小松菜、パセリ、葉ニンニク、アザレア、完熟堆肥「土力目標」の包装用フィルム JAみづま:はとむぎ加工品の表面ラベル 近郊出荷者:春菊の段ボール 道の駅くるめ:商品に貼るくるっばシール	1,218	○久留米産農産物の認知度向上を目的に、ロゴマーク「キラリ久留米やくるっば」を活用した、久留米産農産物の包装資材やシールの作成に対する支援を行う。	1,200	農政課
		地産地消推進店等での、久留米産農産物の表示の支援を行い、市民が購入・消費しやすい環境を整備します。	○直売所PR資材(垂れ幕、ミニのぼり、パネル)を作成し表示の強化を行った。(マックスバリュ榎原店、サンリブ久留米店に設置) ○地産地消推進店冊子の作成(4,000冊)	1,010	○JAの直売所やインショップなどで、個々の店舗に応じた、久留米産農産物のPOP等を作成し、表示の強化を行う。 ○平成29年度に製作した久留米産農産物PR動画「くるめさん、ぐるめさん」をJAの直売所やインショップに設置した電子POPモニターで放映し、表示の強化を行う。【新規】 ○地産地消推進店の冊子を作成する(4,000部)	1,644	農政課

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
②	地産地消の 意識啓発	地産地消をテーマにした料理講習会を開催し、久留米産農産物の旬や食べ方について普及し、地産地消への意識向上を図ります。特に、男性や子育て世代への参加を促進します。	<p>○食生活改善推進員協議会と連携し、料理講習会を30回開催。内2回はPTAと協働し子育て世代向けに、内1回は男性向けに行った。 (子育て世代参加者:67名/679名) (男性参加者:60名/679名)</p> <p>○ABC Cooking Studioに業務委託し、ゆめタウン久留米にて子育て世代向け料理講習会を1回開催した。 (子育て世代参加者:29名/36名) (男性参加者:5名/36名)</p> <p>○商工会議所と連携し、サラダ菜を使ったアイデアレシピコンテストを実施。(応募151名)</p> <p>○久留米農産物のレシピ集を作成し、公共施設やイベント、団体等を通じて配付した。 (平成28年度版久留米産農産物レシピ集:3,600部) (サラダ菜のアイデアレシピ:20,000部)</p>	2,304	<p>○食生活改善推進員協議会と連携し、各地域にて久留米産農産物を使った料理講習会を実施する。</p> <p>○ABC Cooking Studioに業務委託し、ゆめタウン久留米にて子育て世代向けの料理講習会を実施する。</p> <p>○商工会議所飲食業部会及び地産地消推進店と連携し、久留米産農産物を使った期間限定メニューの提供を行う「くるめゴルフフェア」を開催。【新規】</p> <p>○久留米産農産物のレシピ集の作成、配布を行う。 (平成29年度版久留米産農産物のレシピ集3,600部) (サラダ菜のアイデアレシピ集の増刷:20,000部)</p>	2,415	農政課



《基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
●個別施策1 食と環境について考え学べる食育							
①	環境まなび のまちづくり の推進	生ごみ堆肥化や野菜づくりを指導する生ごみリサイクルアドバイザーを保育所、幼稚園、小中学校等に派遣し、体験を通して「食の循環」による食育の推進を図ります。特に地域での生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を拡大し、子どもから大人まで環境に配慮した食生活を送る市民を増やします。	○給食調理くずや家庭から出た生ごみを使って堆肥化や野菜作りを指導し、体験を通して「命を大切にする心」と「ものを大切にする心」を育む派遣事業を実施した。  派遣回数:29回 参加者数:1399人 派遣施設:25施設 (保育園12・小学校8・中学校1・地域4) ※新規施設(小学校1)	155	○生ごみリサイクルアドバイザー派遣事業を未実施の小学校や地域に拡充し、生ごみの堆肥化・野菜づくりの体験やエコ・クッキングを通して、「命を大切にする心」「もったいないの心」と「ものを大切にする心」を育む取り組みを進める。	372	資源循環推進課
		生ごみリサイクルによる土作りから野菜の植付・収穫、収穫した野菜を使ったエコ・クッキング教室を行うことで、食の循環や食品ロス削減について学ぶ機会を提供します。			○安武小学校の児童と保護者を対象に安武校区コミュニティセンターの支援を受け、安武百祥会養春園の畑を活用し、家庭から出る生ごみを持ち寄り、生ごみリサイクルでの土づくり、野菜作り、野菜の収穫体験を安武百祥会と協働にて行う。また、収穫した野菜や日頃何気なく捨てている野菜の皮等を使ったエコ・クッキング教室を久留米信愛短期大学フードデザイン学科の学生が講師として参加し、食の循環や食品ロス削減について学ぶ機会とする。 <b>【新規】</b>	61	資源循環推進課
		家庭から排出される生ごみの堆肥化を促進するため、地域等で生ごみリサイクルを指導するリーダーを育成します。	○食育講演会や生ごみリサイクル講習会の参加を促し、生ごみ減量・堆肥化や野菜づくりの知識を深め、リーダーの育成のためレベルアップ講習会を実施した。 レベルアップ講習会:2回 参加者数:46人	-	○リーダーとしての技術向上のため、生ごみリサイクル講習会や相談会等へ参加を促す。併せてリーダーとして活動できる人材の発掘を図る。	29	資源循環推進課
		宮ノ陣クリーンセンター「環境交流プラザ」を拠点として、食育講演会、リサイクル講習会、3R学習会を実施し、食品ロスの抑制など持続可能な社会の実現に向けた食育の推進を図ります。	○サンデーリサイクルやイベント等で生ごみリサイクル講習会や食育講演会を実施した。また、パネル等掲示により食品ロス削減推進を行った。 食育講演会:2回 参加者数:75人 各種講習会:25回 参加者数:500人 3R学習会:29回 参加者数:1,315人	251	○宮ノ陣クリーンセンター環境交流プラザでの講演会等の開催する。 ○環境学習の拠点として整備された同プラザにおいて環境学習等を実施し、環境に配慮した食育の推進を図る。	388	資源循環推進課
		食やエネルギーを無駄にしない環境にやさしい料理講習会を開催し、環境に配慮する食生活を推進します。	○栄養が豊富で生命力のある野菜の皮や芯を丸ごと調理する方法や元気な心と体づくりの食生活改善を促進した。  講座3回 食育フェスタ64人・食育講座・68人 ・親子で食育11人 参加人数:143人		○食品ロスについての理解を深め、作り過ぎない、野菜の皮を厚くむくなど過剰な除去を減らす、無駄なく食べきるための方法、廃棄をなくすための保存方法などを学べる場を提供する。		資源循環推進課

《共通施策 食育への理解と関心を高める》

No.	主な事業 (事業名)	取組内容	H29年度事業実績	29年度 決算額 (千円)	H30年度事業計画	30年度 予算額 (千円)	担当課
-----	---------------	------	-----------	---------------------	-----------	---------------------	-----

●個別施策 市民全体を対象とした情報発信

①	食育に関する事業・イベント等の情報提供	市民への食育啓発のシンボルイベントとして「食育フェスタ」を開催します。	○くるめ食育フェスタ2017の開催 「ふるさとくるめ農業まつり」との同時開催し、より多くの幅広い年代の方への食育啓発を行った。また、市民団体との協働により開催した。 日時:平成29年11月11日(土)、12日(日) 会場:久留米百年公園リサーチセンタービル 参加者:65,000人(11日30,000人、12日35,000人)	2,125	○くるめ食育フェスタ2018の開催 「ふるさとくるめ農業まつり」との同時開催により、より多くの幅広い年代の方への食育啓発を行うことを目指す。また、市民団体との協働により開催する。 日時:平成30年11月10日(土)、11日(日) 会場:久留米百年公園リサーチセンタービル	2,090	農政課
		食育通信の発行や市ホームページ、広報誌を活用し、市民への食育に関する情報を積極的に発信します。	○食育友の会会員に対してイベントや食育に関する情報提供(郵送2回、メールマガジン12回)を行った。 ○毎月19日の『食育の日』に、各団体から寄せられた食育関連情報を「食育通信」としてまとめ、商工政策課が発行している産業ニュース(メールマガジン)にて食育推進の啓発を行った	-	○「食育友の会」に対して、イベントや食に関する様々な分野の情報を発信する。 ○商工労働ニュースや産業ニュース等を活用し、職場での食育の取組について啓発を行う。	-	農政課

第3次久留米市食育推進プラン 目標指標の進捗状況

資料 2

基本施策Ⅰ 生きる力を育む食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	栄養教諭等が食育の授業や短時間の食育指導を実施した学校数の総計	%	53/63校 (84%) H27年度	63/63校 (100%)	63/63校 (100%)	63/63校 (100%)	+10校 (+16pt)
個別 施策 2	食育啓発促進校に指定された学校の総計	%	34/63校 (54%) H27年度	39/63校 (62%)	44/63校 (70%)	63/63校 (100%)	+10校 (+16pt)
	朝食を欠食する小・中学生の割合	%	小学生 1.2% 中学生 1.9% H27年度	小学生 1.5% 中学生 2.8%	小学生 1.6% 中学生 2.3%	小学生 0.8% 中学生 1.8%	小学生 +0.4pt 中学生 +0.4pt
個別 施策 3	残食率の平均値	%	小学校 米 2.4% パン 3.4% 副食 2.2%	小学校 米 2.3% パン 3.1% 副食 2.4%	小学校 米 2.4% パン 3.0% 副食 2.4%	小学校 米 2.0% パン 3.0% 副食 2.0%	小学校 米 ±0pt パン ▲0.4pt 副食 +0.2pt
			中学校 米 4.7% パン 3.5% 副食 3.2%	中学校 米 2.4% パン 2.5% 副食 1.7%	中学校 米 1.3% パン 0.9% 副食 0.9%	中学校 米 4.0% パン 3.0% 副食 3.0%	中学校 米 ▲3.4pt パン ▲2.6pt 副食 ▲2.3pt
	学校給食で導入した久留米産農産物の使用割合	%	49% (470t/959t)	44% (399t/903t)	46% (458t/995t)	50% (20t増)	▲3pt ▲12t
個別 施策 4	保護者に対して2種類以上の食育啓発を行っている保育所・幼稚園・認定子ども園の割合	%	83.5% (81/97園)	91.7% (88園/96園)	87.5% (84/96園)	100% (96/96園)	+4pt (+3園)
個別 施策 5	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間当たりの「共食」の回数	回	(H28年度実績値)	12.7回/週	12.7回/週	+1回/週	-

基本施策Ⅱ 健全な食生活を推進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	食育の取組を行う高校・大学の割合	%	72% (13/18校)	67% (12/18校)	72% (13/18校)	100% (18/18校)	±0pt
	朝食又は夕食を家族と一緒に食べる3歳児の1週間当たりの「共食」の回数	回	(H28年度実績値)	12.7回/週	12.7回/週	+1回/週	±0pt
個別 施策 2	主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている市民の割合	%	56.7%	57.5%	52.8%	75%	▲3.9pt

基本施策Ⅲ 農業・農産物への理解を促進する食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	農業・農村の多面的機能について学ぶ小学校の割合	%	0% (0/46校) H27年度	0% (0/46校)	100% (46/46校)	100% (46/46校)	±0pt
個別 施策 2	地産地消を意識している市民の割合	%	49.4%	56.8%	57.2%	65%	+7.4pt
	料理講習会の男性参加率と子育て世代の(40歳代までの)参加率	%	男性 11.2% 子育て世代 5.6%	男性 8.8% 子育て世代 13.3%	男性 9.1% 子育て世代 13.4%	男性 17% 子育て世代 12%	男性 ▲2.4pt 子育て世代 +7.7pt

基本施策Ⅳ 環境との調和を図る食育

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	生ごみリサイクルに取り組む団体数	件	92件	106件	111件	121件	+19件

共通施策 食育への理解と関心を高める

No.	目標指標	単位	基準 H26年度	実績 H28年度	実績 H29年度	目標 H32年度	基準年 比較増減
個別 施策 1	食育に関心を持つ市民(20歳代、30歳代)の割合	%	68%	86.4%	89.2%	73%	+21.2pt